



議員相互に研修、交流を深めた

姉妹都市

茅野市議会来総

議員が施策研修会で交流

この後、本市議会の運営方法や議会改革の状況、市の重点施策について、本市議員が茅野市議員に、スライドを使って説明等を行う研修会を開催。意見交換も行って、今後の相互の議会活動に役立つ情報交換を行いました。

茅野市とは、昭和59年に姉妹都市縁組を締結。2年に1度交互に訪問し合い、交流、親睦を深めています。

本市議員が議会運営や本市の重点施策を説明

総社市の姉妹都市、長野県茅野市の議会議員と茅野市長らが総社市を訪れ、本市議会議員と交流を深めました。

来総されたのは、小平吉保議長ら議員17人と柳平千代一市長など総勢21人。国指定史跡鬼城山で係員の説明を受けたり、建設中の「岡山総社IC流通センター」や高梁川新架橋などを車中から視察したりしました。

行政視察受入状況(平成24年4月～12月)

視察日	自治体名	人数	議会運営・一問一答方式	障がい者一人一席方式	新生活交通「雪舟くん」	子育て王国「そうじゃ」	子産地消・地産への取組	地域包括ケアシステム	自主防災組織・常盤公園	総社観光プロジェクト	ごみ減量化
4月27日	京都府宇治市	14	○								
5月7日	玉野市	1	○								
5月11日	山形県寒河江市	4		○							
5月16日	兵庫県川西市	9	○								
5月17日	高知県梼原町	8		○							
5月21日	山形県鶴岡市	9	○								
6月21日	岩手県紫波町	7		○							
7月12日	福井県美浜町	6		○							
7月17日	兵庫県宍粟市	11	○								
7月18日	秋田県男鹿市	8		○							
8月8日	福岡県古賀市	8		○							
8月9日	兵庫県丹波市	9		○							
8月21日	鹿児島県南さつま市	9		○							
8月23日	長野県塩尻市	2	○								
8月27・28日	東京都板橋区	1		○							
10月9日	愛知県津島市	4		○							
10月11日	静岡県富士宮市	9		○							
10月12日	埼玉県東松山市	3		○							
10月12日	岐阜県多治見市	3		○							
10月15日	山形県鶴岡市	4		○							
10月16日	三重県亀山市	4		○							
10月16日	静岡県三島市	3		○							
10月17日	東京都杉並区	11		○							
10月23日	宮城県大崎市	10		○							
10月23日	静岡県浜松市	10		○							
10月24日	埼玉県行田市	6		○							
10月25日	千葉県富里市	11		○							
11月9日	京都府京丹後市	8		○							
11月16日	鹿児島県出水市	7		○							
11月21日	青森県五所川原市	6		○							
		205	2	11	9	6	3	2	2	1	1

全国から市議会が訪問

総社市には、毎年多くの自治体議会が行政視察に訪れています。昨年4月から12月末までに30自治体が来総。最も多かったテーマは「障がい者千人雇用」、次いで「雪舟くん」についてでした。

「雪舟くん」の行政視察では、本市議会が新交通体系の研究のため設けた特別委員会の設置の経緯や、当局と協議して運行を開始したデマンド型交通の独自性や運営方法、市民の利用状況等について、

総社流の施策や議会運営を視察

総社市には、毎年多くの自治体議会が行政視察に訪れています。昨年4月から12月末までに30自治体が来総。最も多かったテーマは「障がい者千人雇用」、次いで「雪舟くん」についてでした。

「雪舟くん」の行政視察では、本市議会が新交通体系の研究のため設けた特別委員会の設置の経緯や、当局と協議して運行を開始したデマンド型交通の独自性や運営方法、市民の利用状況等について、

先進的な取組事例として研究テーマに取り上げられました。

一問一答方式の導入など議会活性化の状況も

本市議会の一般質問における一問一答方式の導入とそのための議場改修や、インターネットによる本会議の生中継・録画中継の取組、委員会による所管事務調査方法等についても、議会活性化の積極的な取組として、他市議会から熱心な質疑を受けています。

建設消防委員会

本委員会で審査した案件は、議案2件であり、原案どおり可決しました。

◎議案第72号
一般会計補正予算
《補正予算の主な内容》

- ・豪雨時に作原地区が浸水被害に遭っているため、それを防ぐための作原排水ポンプ設置工事費
- ・高梁川の増水により国道を越えた水が作原地区に流れ込むのを防ぐ浸水防止柵（設置及び撤去が可能）の施工費

問 今回、本市が新しくポンプを設置するが、国土交通省からの補助はないのか。

答 国の補助はない。

問 非常時にポンプを管理するのは誰がするのか。

答 地元で管理をお願いするという事で協議中である。

問 排水ポンプは、作原地区の水を高梁川に排水することが目的か、それとも国道を越えて作原地区内に浸水してきた水を排水することか。

答 高梁川が増水した場合は、まず樋門を閉めることで高梁川からの浸水を防ぎ、作原地区の水はポンプ2台で高梁川に排水する計画である。

問 国土交通省のポンプと新しく設置しようとしているポンプに能力の差はあるのか。

答 ポンプの能力は同じであるが、国土交通省のポンプは布製のホースで排水するため、高梁川が増水して国道横断の排水用の管が浸水した場合は排水できなくなる。その場合は、国道にそのホースを出して排水するため交通止めにな

る。新しく設置するポンプは、高梁川が増水した場合でもポンプの圧力により排水が可能であるため国道が交通止めになることを防げる。

問 本市が設置するポンプで排水できないほど増水した場合は、国土交通省からポンプを借りるのか。

答 借りなければならぬと思うが、新しく設置するポンプの吐出口は鋼管であるため、借りていたポンプとは違い吐出量が期待できる。

問 浸水防護柵の高さはどのくらいか。

答 1m80cmである。

問 国道に設置したパラベットが低いが高くなるのか。

答 過去に越水した事があるため、現在、国土交通省が調査中である。高くする計画はあるようである。

◎議案第78号
総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計補正予算
《補正予算の主な内容》

- ・一般公募していた旧中央保育所跡地（約2000㎡）の売払いが完了したこと及び今後の保留地の売払い見込みによる積立金の増額

問 平成23年の12月に一般公募で7か所の保留地の売払いをしているが、保留地の処分状況はどうなっているのか。

答 旧中央保育所跡地は約1億540万円、もう1か所の226㎡は約1200万円、保留地が売れた。昨年度は1件売れているので、合計3件である。



昨年の台風12号による作原の浸水被害